

令和4年度 押原小学校 学校関係者評価

令和5年3月3日(金)教頭

実施日 令和5年2月26日(金) 13:30~15:30

会場 押原小学校 図工室

参加者 学校運営協議会 委員14名(1名欠席)

1 学校から提案された資料

- ・令和4年度 自己評価
教職員アンケートの結果と考察
保護者アンケートの結果と考察
児童アンケートの結果と考察
令和4年度の自己評価の結果と改善点

2 協議された主な内容

- ・令和4年度 学校の自己評価についての質疑・意見
- ・来年度に向けての意見・改善策

○自己評価の概要

- ・保護者・児童アンケート(各15項目)全てにおいて、肯定的評価【1そう思う 2どちらかというと思う】が9割を超えている。本年度の教育活動について、おおむね目標を達成し、理解が得られていると考える。
- ・教職員評価において課題となるのが、「④あなたは、地域の人材や素材を授業に生かそうとしている。」についてである。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、外部人材を学校に教育課程で活用する機会が少なくなっている。学校では今、来年度に向け、総合的な学習の時間の教育課程の見直しを行っている。新しい活動の中で、人材や素材を活用していきたい。
- ・保護者アンケートの中で「③学校は、児童の望ましい生活や人間関係づくりのための指導を行っている」「③家庭訪問、個別懇談、地区別授業参観などは、教職員と保護者が相互に理解を深めたり課題を共有したりする機会になっている」の2項目において「(1)そう思う」という評価が、R3と比べて低下していることが気になる。学校が今後も一人ひとりの児童に目を向け、楽しい学校づくりに向けて努力することで信頼を得ていきたい。

- ・児童評価においても、「⑬あなたは、家庭訪問や個別懇談が終わった後は、お家の人と学校のこと(勉強や友達のこと)について話をしている」の評価が他項目に比べて低くなっている。学校から児童の良い点を積極的に発信し、自己肯定感が高められるように工夫していく必要がある。

〈 質問 〉

- ・本校における今年度の不登校児童について
→数名の不登校児童がいる。家庭との連携をとる中で、改善に向けて取り組んでいる。町のカウンセラーにも入っていただき、改善を図っている事案もある。
- ・職員アンケートの回答人数が前期と後期で異なっている件について
→記名調査でなかったため、回答が確認できなかった分人数が異なってしまったので、記名による回答で全員の回答を求めていく。

〈 意見 〉

- ・ミライシード(ICT 機器)の活用等とても良い取り組みだと思う。実際に使っている先生方の負担も少なく取り組んでいるのだろうか。
→令和の日本型教育
個別最適の学び
協働的な学び の2本を大きな柱として教育を進めている。
本校では一人1台端末の使用率が他校と比べても高く、積極的な活用を行っている。
- ・ICT 機器が進んでいくと、自分の考えがなく、模範解答を求めてしまう傾向があるのではないかと危惧する。群れることをとおして学んでいく。子どもが考えを交流する等、学び方の工夫をしてほしい。
- ・一人1台端末の持ち帰りのなかで、使い方を子どもの方が理解しているので、親がかかわれない心配はないのか。→1学期から使い方についてはレクチャーして来た。
授業参観でも子どもたちが使い慣れている様子がうかがわれる。まずは使い方に慣れることが大事。→保護者の方も持ち帰ったときにどんなことをしているのか、一緒にかかわって知ってほしい。
- ・押原小学区は、細い道や車がたくさん通る道が多い。この会をとおして、町にも要望を伝えていく必要がある。改善につなげていきたい。
- ・PDCA サイクルについての評価が低いですが、何か運営協議会としてお手伝いができることがあれば、協力していきたい。→PDC までは実施できていると考えるが、A(アクション)にまでつながっていない点があるのではないかと考えている。家庭学習の取り組みについては2学期から新たな取り組みをスタートしたので、実際に評価につながっていることもある。取り組みの工夫をしていきたい。

- ・アンケート内の「(2) ややそう思う(3) あまりそう思わない」のグレーゾーンの回答を少なくする方法を探ってほしい。判断が難しいのではないか。
- ・校長先生と児童との距離が近くてとても良い。→信頼の醸成。先生と子どもの距離が近くなれば、意見が言えたりすることにつながっていく。

※特記事項 なし